

木育インストラクター養成講習会に参加しました！

前号で紹介しました「鹿児島県木育インストラクター養成講習会」に参加しました。22～23日行われた同講習会には県内各地から14名の参加がありました。10名の募集に30名超の申し込みがあり、急遽、15名に増やし、参加者を決定したそうです。職業も様々で、病院の臨床工学士や、社会福祉法人・学校・保育園関係、そして木材加工業者など様々でした。講師は鹿児島大学教育学部教授・寺床勝也氏でした。

「木育」とは、「木を子供の頃から身近に使っていくことを通じて、人と、森や木との関りを主体的に考えられる豊かな心を育てたいという思いを込めた」言葉である。生涯教育での「木育」とは「すべての世代の人々を対象として木材を暮らしのなかに積極的に取り入れて健康で文化的な生活と知恵を取り戻し、森林資源を豊かに活用する持続的な活動」と定義される。鹿児島県ではまだ始まっていないが、全国では「ウッドスタート」といって、生まれた赤ちゃんへの贈り物として、地元の木材で作った積木などをプレゼントする活動が始まり、「ウッドエンド」として、人生最後の木材利用(棺桶)等も提唱されている。木育を始めるにあたっては、対象(幼児・保育幼稚園児・小中学生・一般)に合わせて木育活動の企画立案を行う。その際、自分の得意分野(木の性質、環境、木工、木材に関わる歴史 etc)を強みととらえ、木育活動を展開することが大事だということです。

「木材って何」という講義では木材の多様性と利用範囲の広さ、森林の公益的機能と手入れの必要性、生育環境による木材の違い等の話がありました。

実習では三角スツールの製作を行った。安全な作業の為の道具の使い方や、ペーパー仕上げによる手触り感など体感できた。また端材を利用して木目を生かす小物等も紹介された。単なる木工ではなく、人間と木や森の関係を知ってもらう事で森林資源を活用する持続的な活動(SDGs)に繋げる事が最終目標となる様です。

【情報】

全国一斉森林ボランティアの日！

日時 9月19日(土) 10時開会

場所 川辺町 馬事公苑

主催 鹿児島県森林ボランティア協議会 森と木の研究所
鹿児島みどりの基金 共催 国土緑化推進機構

今年度はコロナ感染の影響で参加人員をボランティア協議会員に限定して行います。(森と木の研究所は、今までに同公苑で「ミツバチの森づくり」などの、植樹・森林管理活動やチェンソーアートも行っています。遊びに行ってみませんか)

【定休日】

9月は5, 6, 12, 13, 20, 21, 27日

10月は3, 4, 10, 11, 17, 18, 24, 25日となります

宜しくお願いします



鹿児島県の木育教材